県連大会

◆全体討論

有本キヌエ（杭ノ瀬）
　県議会議員選挙でふじ本まり子を当選させていただいたお礼。支部女性部では、2か月に1回学習会をひらき、狭山事件やビデオ鑑賞をしている。しかし、参加が難しい状況がある。家事、育児、仕事を担う女性を理解し協力する人が必要。性別役割分担の意識は根強く、男性の生き方をも生きづらくしている。男性中心社会という現実を直視し、是正措置にとりくんでほしい。

辻岡瑛雄（笠田東）
　参議院議員選挙の実施にともない、藤井幹雄・顧問弁護士が「憲法9条を守る」という一心で出馬予定する。ご協力をよろしくお願いしたい。

礒岡靖美（湯浅）
　湯浅町議会議員選挙で石本一也を当選させていただいたお礼。NPO法人として、活動拠点のふれあいセンターえがおを立ちあげ、高齢者や障がい者への友愛訪問や配食サービスなどを提供している。また、洗濯や買い物が困難な方への支援も模索しながら活動を広めたい。そのための補助や委託事業などの情報を探求してほしい。

薮根京（新宮）
　不安定就労、無年金、健康保険の滞納など課題が山積している。また、青年は仕事を求めて県外へでていくため、コミュニティバランスが崩れている。母子家庭も多く、高校や大学進学も断念せざるを得ない。次世代を担う青年の育成は、急務の課題。全支部の課題として、生活、仕事保障、教育など、行政闘争はもちろん、さまざまなとりくみをお願いしたい。

大工義貴（湯浅）
　青年部は14支部で組織されているが、県内の過疎がすすむなか、青年の就労が減少している。支部でも次代をになう青年の育成が支部の重点課題。このままだと、解放運動が衰退してしまうという危機感を感じる。青年の就労や住宅の補助など青年と青年部の発展と方向を具体的に示されたい。

宮本睦（那賀）
　年に数回、女性部活動の連帯のため、杭ノ瀬・平井との交流会を実施した。地域活動をささえるためには女性部活動の強化が必要。女性部活動の推進を。支部として、統一地方選挙では、統一行動に参加してきた。7月の参議院選挙では、藤井幹雄が出馬する予定。安倍政権は、戦争する国にしようとしている。戦争は最大の人権侵害。藤井幹雄選挙のご協力をお願いしたい。

寺本典司（橋本）
　条例の見直しをすすめているが、アドバイスをほしい。

（3ページへ↖）

ともに、すすむ道を模索して

第43回女性部定期大会

県連女性部第43回定期大会を5月25日、同和企業センターでひらき、18支部83人が参加した。

主催者を代表し、山本昌代・女性対策部長は、徳島全女の記念講演で上映された在特会の徳島教組襲撃のようすの動画や議員による部落差別発言、女性差別発言が多く報道されている。言論の自由を考え、正しいことを発信していかなければならない。今年は選挙の年。私たちの求める要求を政策に反映させるためにも推せん候補の当選は重要である。狭山の闘いについて、全女の分科会で狭山について報告をした。狭山事件をとおして教育の重要性を改めて感じた。今年4月から和歌山市福祉計画の委員をしているが、若い人の防災の知識が高いことは教育の成果だと思う。一年に一度の大会の今日、多くの意見をだしてほしいと語った。

つぎに、県連を代表して、藤本哲史・県連執行委員長は、4月の統一地方選挙で2人の組織内候補を当選させることができた。議会のなかで、私たちの要求や思いを発言してもらうことが重要。「推進法」は3年目をむかえた。県内では、湯浅町で条例が制定された。和歌山県で条例が制定されるように今年の闘いの目標としてすすめていくとあいさつした。

つぎに、尾花正啓・和歌山市長は、人権3法が施行されたが、差別事象はあとを絶たない。和歌山市は昨年からモニタリング事業を実施し、地名も削除できるようになった。行政も一緒になって法律を実行性のあるものにしていかなければいけないとあいさつした。

つぎに、生駒亨・県環境生活部局長、松井資喜・青年部長、藤本眞利子・特別執行委員（組織内候補）が来賓の藤本哲史・県連執行委員長、藤本眞利子・県議会議員（組織内候補）、山本昌代・県連女性対策部長からあいさつをうけた。

つぎに、小嶋仁史・副部長から2018年度の経過報告、久保智弘・事務局長から2019年度活動方針（案）が提案され、参加者全員の拍手で確認した。大会運営委員長の岩脇大介（岩橋）さんから、今大会の参加人数・役員体制などについて報告され、参加者全員で採択した。最後に、岸田貴裕・青年対策部員から「松井青年部長のあいさつにもあったように、差別事件はなくなっていない。一緒になって差別をなくしていこう」と閉会のあいさつを兼ねて、団結ガンバローで大会が終了した。

あいさつする山本昌代女性対策部長

みずからの行動を

第40回青年部定期大会

県連青年部第40回定期大会を5月26日、同和企業センターでひらき13支部55人の青年・高校生が結集した。

主催者を代表して、松井資喜・青年部長から「行政機関への差別問合せも急増し、その内容は「結婚を控えているので」「土地や家を購入するので」という具体的な差別が明らかになっており、1日も早い差別事件の解決をめざして一緒にとりくもう。また、学習会やスポーツ交流会を企画していきたい。青年対策部だけで企画するのではなく、各支部から青年を募って企画・立案していきたい」とあいさつした。つづいて、あいさつをした。

2018年度経過報告を宮本睦・事務局長がおこない、2019年度活動方針（案）の提案を竹本雅世・対策部員、山本はつ美・対策部員がおこなった。会場から、全国女性集会参加者が提出している感想文について質問があり、議論した。負担にならないように今後も継続していくこととなった。

青年にかかわって急増する差別事件についてふれる松井資喜青年部長

【祝電・メッセージ】
仁坂吉伸・和歌山県知事、髙信としみ・連合和歌山女性委員会委員長、山崎鈴子・中央本部女性運動部長、鶴岡弘美・大阪府連合会女性部長、植村あけみ・兵庫県連合会女性部長、新谷章恵・京都府連合会女性部長、松谷操・奈良県連合会女性部長、山崎鈴子・愛知県連合会女性対策部長、磯貝永子・同女性部長

今後の日程

（10月）
1　厚生労働省交渉（厚生労働省内）
2　第76期第4回中央執行委員会・第76期第2回中央委員会（大阪市・HRCビル）
3　第76期第1回全国農林漁業運動部長会議（大阪市・HRCビル）
5～6　部落解放第18回全国識字経験交流集会（丸亀市・オークラホテル丸亀）
9　対紀の川市交渉（市役所）
15～17　第53回部落解放全国研究集会（名古屋市・名古屋国際会議場ほか）
18　杭ノ瀬支部女性部定期大会（杭の瀬文化会館）
21～22　部落解放第28回高齢者交流会及び高齢者連絡協議会第27回総会（福井県・あわら温泉）
23　第157回狭山ビラ統一行動
24　対岩出市交渉（市役所）
2　対田辺市交渉（市役所）
27　第4回女性部1日研修会（りいぶる）
30　2019年度　部落解放・人権政策確立要求第2次中央集会（東京・ニッショーホール）
農林水産省交渉・厚生労働省交渉（雇用対策）・文部科学省交渉・国土交通省交渉